リーダーが健全なワークスペースで果たす役割 pg 4
全ての仕事環境における公平なエクスペリエンスの促進

多様なワークスペース pg 6
プライマリー、セカンダリー、および外出先ワークスペースは、互いにどの程度補完し合っているか?

包括的なワークエクスペリエンスを育む pg 10
社員の多様なニーズを満たすための柔軟性をもたらすフレームワーク

デスクを超えて pg 12
ウェルビーイングとパフォーマンスを促進するWFHエクスペリエンスを確立するための5つのヒント

在宅勤務の フィールドガイド

社員が在宅でより健康的に業務を行うことをサポートする方法

HermanMiller + GitLab

在宅勤務の
フィールドガイド

生産的かつ健康的な労働力を実現するということは、自宅、コワーキングスペース、喫茶店、飛行機など、あらゆる場所での仕事をサポートすることを意味します。組織は、社員が様々な場所から業務を行えるようにテクノロジーツールを提供することは一般的ですが、持続可能なリモートワークを効果的に強化するために必要なサポート、ガイダンス、またはリソースを常に提供するとは限りません。本フィールドガイドは、ビジネスリーダーが自宅勤務を管理する際の手引きとして役立ちます。

COVID-19のパンデミックは、ワークプレイスのトレンドを急激に変化させました。私たちが将来に目を向けたときに最も重要なポイントは、分散型ワークが定着しつつあるという現実です。柔軟性は、世界中の知識労働者や求職者の前提条件になっています。

個人がその選択ができるような体制を整えることとは、すべてのワークスペース戦略を進める上で重要な要素であるべきです。組織文化を強化する形でリモートおよび分散ワークを採用する組織は、最終的にチームに前向きで健全なワークエクスペリエンスをもたらします。非常に多様な人材を繁栄させるためには、公平で包摂的な職場環境が不可欠であるため、企業は社員の自立性を育み、その利益を得ることができます。

最近のFuture Forum Pulse調査によると、

76%
の従業員が働く**場所**に柔軟性を求めています

93%
の従業員は仕事をする**時間**に柔軟性を求めています。

出典: Future-Forum-Pulse-Report-October-2021.pdf

ハーマンミラーについて

ハーマンミラーは、90年以上にわたって家とオフィスに関する研究を行ってきました。1941年、同社はギルバート・ロードによって設計されたエグゼクティブオフィスグループの販売を開始しました。そのデザインは「家庭でもオフィスでも使用できる」製品として売り出され、それ以来ハーマンミラーはハイブリッドワークについての研究を重ねています。

GitLab は、世界最大の全業務リモート企業の1つであり、65か国以上に1,350人以上の社員が点在しています。GitLab製品は、DevOpsプラットフォームとして、チーム間のコラボレーションとコミュニケーションを単一のプラットフォームに統合することで、チームの業務過程を根本的に変えます。同社は、リモート業務を安定させ、その規模を拡大する過程で学んだ教訓と実証済みの方法を文書化し、共有しています。

私たちは、分散型ワークが**個人**、**組織**、および**世界**に与える可能性のあるポジティブな影響を模索し始めたばかりです。ハーマンミラーとGitLabは、両社の洞察と専門知識を合わせることで、リーダーがチームと事業の将来的な業務に関して最善の決定を下すことができるようにアドバイスを提供いたします。

リーダーが健全なワークスペースで果たす役割

組織がハイブリッド型を採用していようと、完全なリモート業務を行っていようと、社員のワークエクスペリエンスのすべての側面をサポートすることは会社のリーダーの責任です。社内のオフィスにあるチームのワークスペースに投資するのと同じように、チームがオフィス外で健全かつ生産的に業務を行える環境を作ることは、リモートワークインフラストラクチャーを構築する上で重要です。

ハイブリッド型のワークスタイルを採用しており、社員が週に2日だけリモート勤務を行っている場合、彼らは週の40%の業務をオフィスの人間工学に基づいた仕事環境外で行うことになります。チームが働く場所にかかわらず、最適化されたワークスペースのために投資することは、社員のウェルビーイング、健康、およびモチベーションにつながります。さらに、事業により良い結果をもたらします。

チームの各メンバーは異なるニーズ、仕事環境の選好、および家庭環境を持っているため、自宅のワークスペースに「ワン・サイズ・フィッツ・オール」（1つのサイズですべてに対応する）アプローチは適用できません。最高の包括性と公平性をもたらすために、ホームワークスペース、コワーキングスペース、または外出先で生産性を高めるために必要な機器など、チームが自分自身で費やすことができる予算を提供することを検討しましょう。

GitLabでは、チームメンバーに様々な種類の機器に対するコストガイダンスを提供し、会社のお金を自分のお金と同じように使えるようにしています。チームメンバーが理想的な仕事環境を試行錯誤するにつれて、チームメンバーのニーズが変わる可能性があることを理解しておいてください。

最近のGitLabリモートワークレポートによると、

82%

の社員は、チームをリモートで管理する方法を理解していることに対して会社のリーダーシップを称賛しました。

出典：remote-work-report-2021.pdf

多様なワークスペース

仕事をする場所を限定することは、現代では古い考え方です。ホームオフィスやキッチンカウンター、コーヒーショップ、コワーキングスペース、さらには車や飛行機など、働く場所に関しては様々な選択肢があります。どこで作業を行う場合でも、これらのスペースをどのように使用するかについて意図的に考えることが大切です。

ハイブリッド型またはリモート環境を活用しつつ、成功を収めるために必要な重要なスキルの1つは、役職や職位に関係なく、**「自分自身のマネージャー」**になることです。「自分自身のマネージャー」は、他の人からの絶え間ない監視なくしても、自律的に目標に向かって取り組み、物事を成し遂げることができます。この自己リーダーシップは、日々の優先順位を管理するだけではなく、自分にとってどのタイプの物理的環境が最も生産的であるかを再考する自立性も与えてくれます。

ワークエクスペリエンスを計画する際は、プライマリー、セカンダリー、および外出先といった様々なワークスペースを考慮しましょう。どこで業務を行うかに関係なく、以下の2つの質問は、様々なワークスペースが互いに補完し合うことを確認するために役立ちます。

1.そのワークスペースを選ぶ理由は何か、そして何が違うスペースに移動させる要因となるか？

2.最高の仕事を行うために必要なツールは何か？それらを別の場所に持っていくことはできるか？仕事場に着いたら、それらをセットアップできる場所はあるか？

プライマリー、セカンダリー、および外出先スペースの詳細とそれぞれの利点について見て行きましょう。

プライマリーワークスペース
（ホームオフィス、会社のオフィス、専用デスク）

利点：二つのスクリーン、専用ツール、または重要なビデオ通話用の管理された環境などが必要な、深い集中を要する作業に適している。

セカンダリースペース
（コワーキングスペース、カフェ、キッチンカウンター、ダイニングテーブル、ポーチ）

利点：コーヒーチャット、一対一の会話、仮想学習と開発などでリフレッシュできる。

外出先スペース
（ウォーキングミーティング、ライドシェア、公共交通機関、待機エリア）

利点：経験的知識に基づいた軽い仕事、仕事の合間の生産性を高める作業に向いている。

包括的なワークエクスペリエンスを育む

ワークエクスペリエンスを向上させることで非常に多様な社員をサポートすることは、優秀な人材を獲得し、維持することを試みるリーダーにとって最優先事項です。在宅勤務とハイブリッド型を意図的に支援することは、このような取り組みの差別化要因になる可能性があります。

チームがオフィス外で作業できるようにすることで、組織は、親、家族の介護をする人々、発達障害を持つニューロダイバーシティな人々、身体的に人と異なる人々などを採用することが可能となり、会社が より**包括的**になります。チームメンバーは、特定のワークスペースの環境が必要な場合や毎日オフィスに通勤できない場合でも不利に働くことはありません。このすべては、GitLabが**Non-Judgmental Culture（価値観を否定しない文化）**と呼ぶ環境を作り出す際に役立ちます。

組織は、社員が在宅勤務およびハイブリッド型業務によって提供される柔軟性を最大限に活用できるように、各チームメンバーが、1週間を通じて業務をサポートするための適切な範囲のスペースを自分で設計していることを確認する必要があります。社員は、単純に家の既存の要素の周りで作業を行うのではなく（台所のテーブルやソファで一日中過ごす）、どうすれば家の内外の多様なスペースによって、業務プロセスがより適切にサポートされるかを考えるように促されるべきです。「自分自身のマネージャー」として、社員は独自のニーズとワークスタイルに完全に対応するために積極的に取り組む必要があります。

最近のGitLabリモートワークレポートによると、

61%

の在宅勤務者は、過去1年間にチームの多様性、包含性、相互信頼を高めるために会社が有意義な行動をとったと感じています。

出典：remote-work-report-2021.pdf

デスクを超えて：健康、ウェルネス、そしてワークスペース

他のオフィスと同様に、在宅で仕事をすることにはメリットとデメリットがあります。在宅勤務を成功させるための最大の障壁は、物理的および精神的に自分自身と他の人の境界を確立するスペースを確立することです。ワンルームアパートメントのキッチンテーブルや専用の仕事部屋のある家に関わらず、仕事への関与と生産性を維持するのに役立つスペースを作り出すことが重要です。

右側に記載されている5つのヒントは、全体的なウェルビーイングと効率的な仕事の促進に有効な在宅勤務の経験を確立するのに役立ちます。

最近のGitLabリモートワークレポートによると、

42%

の回答者は、オフィスから離れて仕事をしている際、仕事とプライベートの境界を維持するのに苦労していると答えています。

出典：remote-work-report-2021.pdf

01.ワークスペースを調整する
人間工学に基づいた仕事環境を設定します。これは、長時間ラップトップで作業する際に起きる可能性が高い筋骨格系障害を防止するのに役立ち、認知的エ　ンゲージメントを高めます。自然光と景色、人間工学に基づいた椅子、目の高さにコンピューター画面を配置すること、作業ツールとリソースを手の届くところに置くことなどを考慮すると良いでしょう。

02.テクノロジーを調整する
デジタルツールを使用する際には、気を抜かないようにします。チームとコミュニケーションを取るために現在使用しているアプリに精通し、ソフトウェアを常に最新の状態にしておきましょう。カメラ、ライト、背景を調節して最高の状態の画像を共有できるようにしましょう。ドアやリビングエリアが見えないようにして、画面上で目障りになるものを最小限に抑えす。重要な会議の前に、オーディオとビデオシステムのチェックを行うこともお勧めします。最後に、座った状態で背中がしっかり支えられていることを確認し、画面に向かって前傾にならないように環境を設定します。

03.ニーズを伝える
最善の仕事を行うためのニーズを考慮してください。同僚だけでなく、スペースを共有している家族、友人、ハウスメイトにもそのニーズを伝えましょう。自分のニーズを尊重することを忘れてはいけません。

04.結果にコミットする
業務の優先順位とタッチポイントを確立しましょう。早朝から仕事を始めたい人もいれば、遅くから取り組みたい人もいます。在宅であれば、結果にコミットする場合、自分の好みの時間でそれを行うことができます。

05.健康に目を向ける
心、体、そして精神をリチャージしましょう。運動や外出、友達とのコミュニケーション、瞑想、空想を行って休憩をとったり、デジタル機器を使用せずに食事を楽しみましょう。

柔軟な仕事環境において完全な自律性を受け入れるということは、自身のルーティンを再考し、古い習慣を捨て、**燃え尽き症候群を防止する**自由を意味します。例えば、GitLabが **Non-Linear Workday**と呼んでいるものを試してみてください。これにより、自身の人生の在り方について再考し、人生における仕事の存在を形作ることができます。人生を第一に考えます。

もっとリモートワークについて学びたいですか？

在宅チームを構築するための詳細な洞察とベストプラクティスについては、GitLabの完全なリモートワークガイドをご覧ください。

GitLabは、セキュリティとコンプライアンスを強化すると同時に、ソフトウェアをより速く、効率的に提供することで、組織がソフトウェア開発における全体的な利益を最大化できるようにするDevOpsプラットフォームです。

Facebook Instagram LinkedIn Twitter

今日の仕事を再形成している動向に関するハーマンミラーの最新の洞察については、未来の働き方ハブをご覧ください。

ハーマンミラーは、1世紀の大部分にわたって人間中心のデザインという基本的な信念をもとに尽力してきました。同社の責務は、最も単純で最も美しい解決策によって複雑な問題に対処することです。この時代において最も輝いている同じ志を持つ会社の数々と協力してこの任務を果たし、永続的な影響を与える独創的で時代を超越したソリューションの構築においてこの分野を先導してきました。ハーマンミラーは、MillerKnollコレクティブの一部です。

Facebook Instagram LinkedIn Twitter Pinterest

©2021 GitLab Inc. and MillerKnoll Inc.
GitLab と はGitLab Incの登録商標です。
ハーマンミラーと は、MillerKnoll Inc.の登録商標です。

gitlab.com | hermanmiller.com